推 薦 図 書

学　科：　文学部　現代日本文化学科	氏　名：　神島 正行
書　名：　エミール 上・中・下	
著者・訳者：　ルソー著　今野一雄訳	
出　版　：　岩波書店　2007	

〈推　薦　文〉

私は教職支援室にやって来る学生と一緒に、文部科学省から出されている学習指導要領について学習している。その総則の中に、「各学校において、児童・生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、･･･、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的学習に取り組む態度を養い、････」との表現がある。この文章を最初に読んだ時に思い出されたのがルソーが著した「エミール」である。ルソーは「人間は教育によってつくられる」、続けて「私たちは弱いものとして生まれる」「私たちには力が必要だ」･･･「私たちは判断力が必要だ」･･･「大人になって必要となるものはすべて教育によって与えられる」と著している。

今、教育界では「生きる力」が注目されているが、その源流はここにあるような気がしてならない。また「子どもに学問を教えることが問題なのではなく、学問を愛する趣味をあたえ、この趣味がもっと発達したときに学問を学ぶための方法を教えることが問題なのだ」とも述べ、興味・関心の大切さや学ぶための方法を教えることの大切さを述べている。この本は上・中・下巻からなり、ボリュウムもあって、そんな暇はありませんという人も多いと思うが、特に教職を目指す学生にとってはどこかに参考になることが書いてあるかもしれない。